

FcMat 会報

練習から本気

第4号

H26年1月18日
発行

FcMat

志水 麗権

厳しい寒さが続いておりませんが、皆様におかれましては、お元氣にお過ごしのことと存じます。

新しい年を迎え、早々に波崎での初遠征、不安と期待の中、無事に実りある体験となった事に安堵すると共に、これを機に本年は、色々なことに挑戦していきたいと、決意と意欲に燃える新年の幕開けとなりました。まだまだ未熟な私ではございますが、子供たちと共に努力、精進していきたいと思っておりますので、本年も変わらずお力添え頂きますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

さて、先日、富山第一高校の優勝で幕を閉じた全国高校サッカー選手権ですが、試合終了直前の同点PK、延長後半残り1分の逆転劇！国立競技場最臈章に相応しい決勝戦となりました。後半48分まで優勝を手中に

していた星稜高校は、本田圭佑出身の強豪校。学校で寮を完備し、毎年全国各地から有望選手が集まるため、下級生でもスタメンの選手がいます。冬場は雪が積もり、満足に練習を行えないチームの門を叩くのですから、監督の情熱の下に志しを持った選手が集まることを思うと他人事ではありませぬ。

一方、富山第一高校は、「made in 富山」と言われ、それゆえに他府県から選手を集めるのではなく地元の選手がほとんどです。つまり、3年間努力を惜しまず精進した者が生き残り、信頼を勝ち取った選手がグラウンドに立っているのです。同じ優勝には変わりありませんが、その価値の重みを感じると共に、相通じるものと、勇気ももらいました。

「大人の本気が子供を本気にさせる」ということを改めて肝に銘じ、私自身も日々の努力を惜しまず、向上心と情熱を絶やさずに頑張りたいと思います。

話は変わりましたが、ある二人の野球選手の言葉が印象に残っているため、ここでご紹介させていただきます。

最初は、ダルビッシュ投手。「努力は必ず報われる。と、よく言われるけど僕はそれを疑っています。努力でも間違った努力には嘘をつかれるし、裏切られる。」

次に、イチロー選手。

「10回の打席のうち3回打てるのが良いバッターですが、反面、7回も失敗するんです。僕の場合、練習が苦しかったりしないと逆に不安になるんです。こんな簡単に成功していいのか？と。だから僕は、満足出来ないのです。」

この場に記すのはお恥ずかしいですが、私の口癖は「下手になる練習もあるんだから」や「やった気ではないな」。今後努力の工夫と高い向上心を促し、子供たちの取り組む姿勢を大切にしていけるようなクラブでありたいと思います。

最後になりますが、「継続は力なり！」と「進化こそ力なり！」そして「技術の向上に終わりはない！」この3つを今年のスローガンとし、本年も宜しくお願ひ致します。



2013年

〈努力が実ってきたこと〉
練習の雰囲気作りに励む子供が増えてきた。

〈謝罪したこと〉
現6年生によるJY立ち上げを断念した。

〈継続したこと〉
練習中による、大きな怪我人を出さなかった。

〈驚いたこと〉
クラブ立ち上げ1年弱で遠征試合に挑戦出来た。

〈遠征で感じたこと〉
同じ釜の飯と早朝の緊張感を共にすることはやっぱり大切。

〈目標にしたこと〉
合宿・遠征に1人でも多くの選手に参加してもらいたい。

〈感謝したこと〉

皆様のお声がけのお陰で沢山の入会者が増えました。心より感謝しております。有難う御座いました。

2014年

努力を惜しまない！